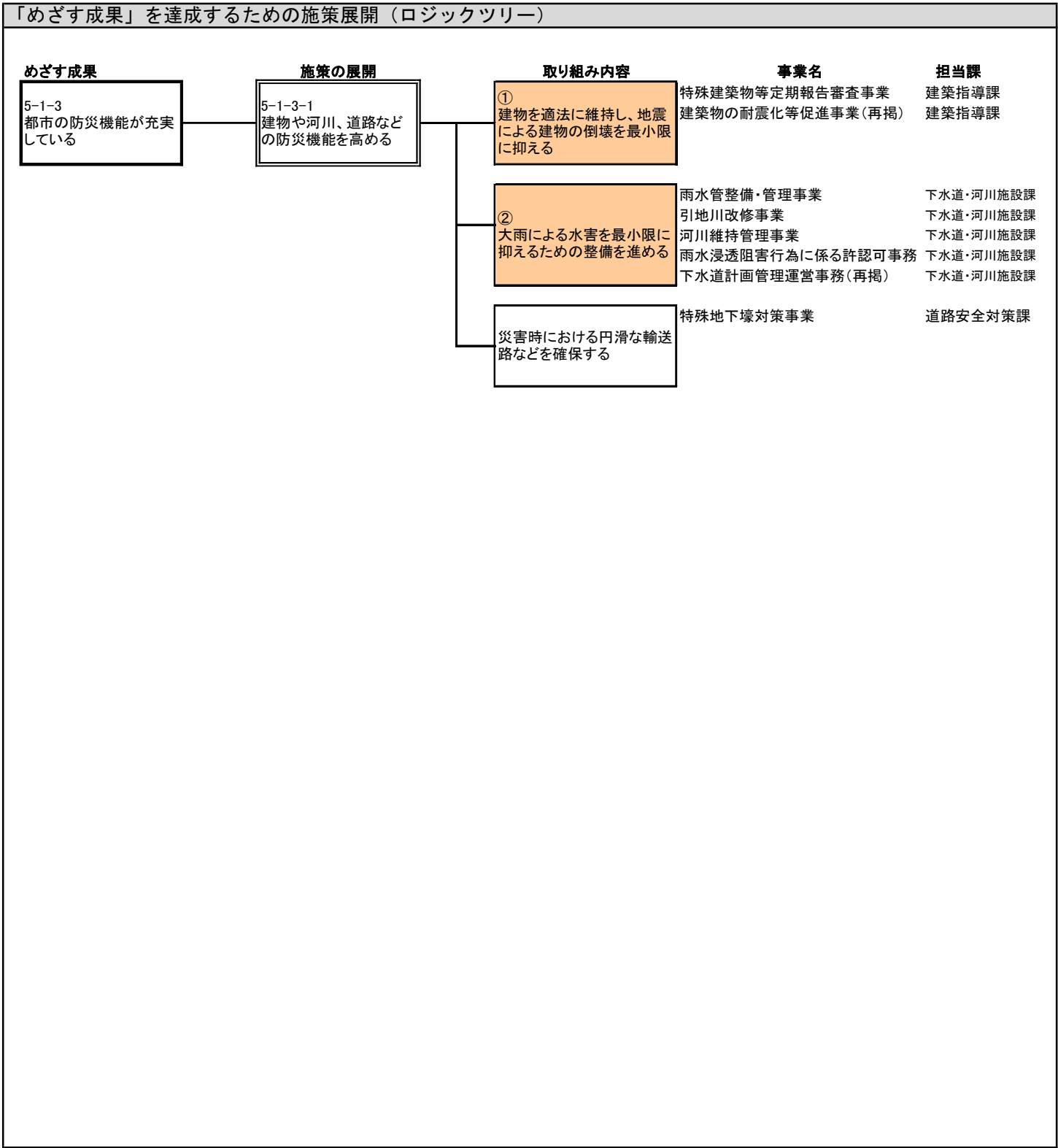


令和３年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
健康領域	まちの健康	
基本目標	５	安全で安心して暮らせるまち
個別目標	５－１	災害への対応力を高める
めざす成果	５－１－１	災害に対して自ら備えをしている
	５－１－２	防災・減災のためのしくみが整っている
	５－１－３	都市の防災機能が充実している



所 管 部		環境施設農政部、街づくり施設部				
【成果を計る主な指標】						
指標の名称		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）				
		計画当初値	実績値 （Ｒ１）	実績値 （Ｒ２）	中間目標値 （Ｒ３）	最終目標値 （Ｒ５）
①	公共建築物の耐震化率	９７．３％	１００％	１００％	２０２１年度の耐震改修促進計画の改定に合わせて設定します。	２０２１年度の耐震改修促進計画の改定に合わせて設定します。
②	雨水整備率	６８．９％	７０．０％	７０．０％	７０．７％	７１．０％
【令和２年度までの主な取り組み内容及び今後の方針】						
施策の展開		主な取り組み内容		今後の方針		
建物や河川、道路などの防災機能を高める		■不特定多数の者が利用する建築物、建築設備及び昇降機の所有者等から管理状況の報告を求め、適法性、安全性について審査を行いました。 ＜実績＞ 建築物：（Ｒ１年度）１２５件、（Ｒ２年度）１２４件 建築設備：（Ｒ１年度）２６４件、（Ｒ２年度）２７２件 昇降機：（Ｒ１年度）１，４６２件、（Ｒ２年度）１，４９１件 ■雨水による浸水被害の解消を図るため、雨水管の整備を１，００４．１ｍ（市施工分）実施し、雨水整備済面積が１．５２ｈａ（市施工分）増加しました。 ■引地川の河川機能を確保し、良好な状態を保つため、管理施設の機能点検を行い、今後の防災管理計画について検討しました。		■管理状況が未報告の物件を対象に、重点的な査察を行い、適切な維持管理や報告の徹底を指導することにより、事故の未然防止を図っていきます。		
		■特殊地下壕対策について、土地の陥没等の危険が想定される箇所については調査を行い、その結果に基づき埋め戻し等の必要な対策を行いました。		■未整備地域の浸水被害箇所を中心に効率的な雨水整備を進めるとともに、住宅浸透櫛の普及などを進め、雨水流出抑制を基本とした流域対策に取り組む必要があります。 ■準用河川の計画的な維持管理体制構築に向け、防災機能を確保するために防災管理計画を策定し、計画に基づき維持管理していきます。 ■令和１２年度を目標年次とした大和市公共下水道全体計画に基づき、各種計画の策定・見直しを行っていきます。 ■未確認の地下壕が発見される等の事態に早期に対応するため、調査費予算を確保していきます。		